

ナシ形ハ猴ニ同ジクシテ黒褐色尾ハ身ヨリ長クシテ端ニ岐アリ鼻ハ仰鼻ニシテ兩孔天ニ向
フ雨降レバ體ヲ樹枝ニ掛ケ尾ヲ反シテ鼻孔ヲ塞グ南州異物志ニ集十餘皮可得一褥繁文麗好
細厚溫暖ト云フ廣東新語ニ有裸然者生從化山中似猴身黑面白其尾長過於身數以尾自度其身
以自娛其自愛尾亦似狻猊尾短以金色而溫柔不能自保亦各有幸不幸歟ト云フ集解ニ畫雖爲宗
彝ト宗彝ハ宗廟ニ供スル酒樽ナリ雖ノ尾ヲ反シテ鼻孔ヲ塞グノ狀ヲ畫ク是智慧アルニ象ルナ
リ一種オナガザル一名オランダザル紅毛人攜へ來ル形常猴ニ同ジクシテ尾細長ニシテ淺黒
色綠光アリ性甚ダ貪黠常猴ニ過グ華夷鳥獸續考ニ爪哇國其港口有一洲林木深茂有長尾猢猻
萬數衆止於上ト云フ

〔輜軒小錄〕果然之事

昔先子仁齋伊藤壯年の時、近里に中村宗全と云ふ老人あり、津輕へ往來して業をなす、彼地より珍
しき猿寶石など餘多持ち來る、先子其家へ至れば、其猿を出だし示す、常の猿の如くにして、其色
潔白雪の如し、尾甚豊にして長し、夜眠る時は其尾にて面を掩ひふす、甚だ人に馴れて憐むべし、
其後家の小僕たはむれに天仙た、蓼びを喰はせければ斃れける、先子云、此果然と云ふ猿なりとなん、
本草を考ふれば、郭璞が云、果然自呼其名亦南州異物志云、交州有果然獸、其名自呼、形大于猿、其體
不過三尺、而尾長過頭、鼻孔向天、雨則挂木上、以尾塞鼻孔、其毛長柔細滑、白質黑文、如蒼鴨、脇邊斑毛
之狀、集之爲裘褥、甚溫暖、雖仰鼻而長尾、則此也、此文と少々違ふ事あれども、大樣此物なり、

拳猴

〔重修本草綱目啓蒙三十五〕獼猴類怪類○中

拳猴ハ一名石猴嶺南雜記コノハザル一名マメザル江州嶺南ノ産ニシテ大サ三寸許ナルモノ一種ア
リ一種四海ザルハ常猴ヨリ小ニシテ家ニ畜フニ良ナリ勢州ニテハ粉川ザルト云フ紀州ノ粉
川ヨリ勢州へ出ス故ナリ珍珠船ニ漁人以猢猻毛置網四角則多得魚云魚見之如人見錦繡也ト